

令和4年度 第2回 Global Science Leadership

SSH交流会であるGlobal Science Leadershipは今年度3回を予定している。第2回目の今回は、以下のことを目的として実施した。

- ・現在、課題研究で取り組んでいる内容についてプレゼンテーションを行い、異なる文化的背景をもつ他者との質疑応答や意見交換を行うことで、研究に対するさらなる課題を見つける。
- ・海外の高校生と英語で交流することで、英語を用いた表現力・コミュニケーション能力を育み、将来国際的に活躍する研究者としての素地を養う。

1 日時 令和4年10月29日(土)

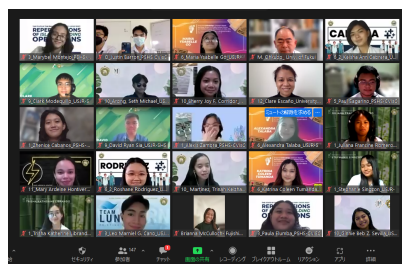
2 場所 藤島高等学校2年生各教室、理科講義室、物理・化学実験室
(オンライン zoom開催)

3 講師 福井大学附属国際原子力工学研究所 泉佳伸教授
福井大学学術研究院工学系部門原子力安全工学講座 松尾陽一郎准教授 他11名

4 対象 本校2年9組 41名
高志高校、武生高校、若狭高校、三重県立津高校、宮城県立仙台第一高校、
Philippine Science High School(Central Visayas),
University of San Jose - Recoletos High School 参加者合計 170名

5 内容

- ①自己紹介・学校紹介
- ②課題研究発表（英語プレゼンテーション、Q&A、担当教授によるご高評）
- ③生徒交流会



6 参加生徒の感想

・外国の学生の方に自分の研究を発表するのは今回が初めてで、更に私はグループ司会を務めることになっていたため、英語で話し続けるのはかなり緊張しました。ですが、優しいフィリピンの方々のおかげで、なんとか自分の考えを伝えることができました。研究テーマはどれも深くて少し難しかったですが、経済学と環境の2つの視点から攻めた研究など、考え方の参考になるものばかりでした。ただ、完全に内容を理解することはできなかったので、今後論文などで英語にふれる機会が増えることも考慮して、しっかり英語に慣れていきたいです。自分が気づかなかった新しい観点に出会えるため、今回のような知らない人たちと研究について交流する機会をぜひ今後もたくさん設けていただきたいです。

・今回の交流会を通して、自分たちの研究の課題も見つかり、また自分の英語の未熟さにも気づいたので、これまでよりもネイティブの英語に触れる機会を多く持ち、スラスラと話したり聞いたり出来るようになりたいと思いました。

・ I gain more knowledge and understanding about the importance of research and how it can significantly improve my life by letting me explore my interests, gain additional knowledge, improve my problem-solving abilities, and take on new challenges.